

令和3年度使用呉市教科用図書（中学校）
総合所見

令和2年8月19日（水）

呉市教科用図書（中学校）選定委員会

	東書	三省堂	教出	光村
観点1 基礎・基本 の定着	<ul style="list-style-type: none"> 教材の初めに問いかけの形で目標を示し、教材の終わりには目標や学習課題を提示している。 学習のポイントを示すコラムを設けている。 情報としての単元を設定しておらず、情報活用に係る1教材を、単元を構成する学習の1つとして設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材の初めに目標を示し、教材の終わりには目標や学習課題を提示している。 文章の読み方や思考方法、語彙に関するコラムを設け、学習の定着を図るよう工夫している。 「情報に関連づける」の単元を設定し、最初に学習の進め方を提示したり、グラフ等の資料を多く使い、書く活動につなげたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材の初めに目標を示し、教材の終わりに学習課題を提示している。 情報についての学習は、単元でまとめるのではなく、全体の複数か所で設定し、「メディアと表現」マークをつけて示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材の初めに目標を示し、教材の終わりには学習活動と目標を示している。 教材の終わりには目標や学習を通して身につける力のポイントを具体的に示すコラムを設けている。 「情報社会を生きる」の単元を設定している。また、そのほかの単元で情報に関する教材に情報のマークをつけて示している。
観点2 主体的に学習に取り組む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 全学年で、日常生活や社会生活に関連付けた題材やテーマを発達段階に応じて取り上げている。 教材の中に「言葉の力」というコラムを設け、書く学習過程に応じたポイントをまとめている。 学習の見通しを立てさせるための多様な資料を掲載している。また、振り返りの課題が提示しており、自分の言葉で振り返りをするよう促しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年で、日常生活や社会生活に関連付けた題材やテーマを発達段階に応じて取り上げている。 教材の中に「～のポイント」というコラムを設け、書く文章の種類に応じたポイントをまとめている。 全学年を通して学習の流れを示す構成がパターン化しており、生徒にとって分かりやすい工夫がある。また、学習の見通しを立てさせるための資料を掲載している。振り返りの課題を提示し、自分の言葉で振り返りをするよう促しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年で、主に学校行事などの学校生活と関連付けた題材やテーマを取り上げている。 教材の中に「～のヒント」というコラムを設け、書く学習過程に応じたポイントをまとめている。 学習の見通しを立てさせるための資料を掲載している。また、振り返りのチェック項目を提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年で、主に学校行事などの学校生活と関連付けた題材やテーマを取り上げている。 教材末に「学習の窓」というコラムを設け、書く文章の種類に応じたポイントをまとめている。 全学年を通して学習の流れを示す構成がパターン化しており、生徒にとって分かりやすい工夫がある。学習の見通しを立てさせるための多様な資料を掲載している。また、振り返りのチェック項目を提示している。
観点3 内容の構成・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> 古典教材はバランスよく示されており、教材の終わりのコラムは、文法的な内容だけでなく、古典の読みを深めるための内容もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 古典教材はバランスよく示されており、教材の終わりのコラムは、文法的な内容だけでなく、古典の読みを深めるための内容もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 古典教材はバランスよく示されており、教材の終わりのコラムは、文法的な内容が中心である。 	<ul style="list-style-type: none"> 古典教材はバランスよく示されており、教材の終わりのコラムは、文法的な内容が中心である。
観点4 内容の表現・表記	<ul style="list-style-type: none"> 全学年において、多様な図表等を掲載した教材を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年において、多様な図表等を掲載した教材を示し、本文の記述と結びついた、読解の助けとなるような図表等が豊富である。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年において、図表等を掲載した教材を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年において、多様な種類の図表等を掲載した教材を示している。
観点5 言語活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いのテーマや議題として、学校や生活などの身近なものから、地域、社会に関するものまで豊富に示している。 話し合いの活動の流れや話し合いの進め方の例を分かりやすく示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いのテーマや議題として、学校や生活などの身近なものから、地域、社会に関するものまで豊富に示している。 話し合いをつないだり深めたりするための、「思考の方法」や表現例を示し、実際に生徒が目的に応じて活用しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いのテーマや議題として、学校や生活などの身近なものを中心に示している。 3つの単元に「学びナビ」として、話し合いの活動のポイントを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いのテーマや議題として、学校や生活などの身近なものを中心に示している。 話し合いをつないだり深めたりするための、話し合いの進め方の例を分かりやすく示している。

種目名〔書写〕 総合所見一覧

	東書	三省堂	教出	光村
観点1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> 小単元ごとに、「目標」と明記して目標を示している。 姿勢について、写真とともに確認項目とチェック欄があり、自分で正しい姿勢になっているかを確認できる工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 小単元ごとに、旗のマークとともに目標を示している。 姿勢について、写真とともにポイントを言葉で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 小単元ごとに、旗のマークとともに「目標」と明記して、目標を示している。 姿勢について、写真とともにポイントを言葉で示すとともに、確認項目とチェック欄があり、自分で正しい姿勢になっているか確認できる工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 小単元ごとに、「目標」と明記して目標を示している。 姿勢について、写真とともに確認項目とチェック欄があり、自分で正しい姿勢になっているかを確認できる工夫がある。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭に、3年間で、何を、どのように学び、学んだことがどのような場面で役立つのかを示し、学習全体の見通しをもつことができるようにしている。 「書写の学習の進め方」では、課題発見・解決の過程に基づいて、基本となる学習の流れをマークと言葉で示している。 小単元の振り返りでは、評価の観点を示し、「書写のかぎ」や書写の用語を使って学んだことを自分の言葉で説明する活動を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭に、「社会生活に生きる書写の力」として、自分の文字をよりよくするための「単元の基本構成」を示している。 「学習の流れ」では、課題発見・解決の過程に基づいて、基本となる学習の流れをマークと言葉で示している。 単元末の振り返りでは、学んだことを実際に活用できているか確認させ、学んだことを自分の言葉でまとめるように示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭に、何を、どのように学び、身に付けた力がどのように広がるのかを図示し、身に付けた力を具体的に示している。 「学習の進め方」では、課題発見・解決の過程に基づいて、基本となる学習の流れをマークや写真、言葉などで示している。 小単元の振り返りでは、評価の観点を示し、自己評価を記入するチェック欄を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭に「三年間の目標」を3つの文で示している。 「学習の進め方」では、課題発見・解決の過程に基づいて、基本となる学習の流れを写真と言葉で示している。 小単元の振り返りでは、評価の観点を示し、自己評価を記入するチェック欄を示している。
観点3 内容の構成・ 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> 毛筆の学びを生かして書く硬筆記入欄が豊富である。 仮名の字源を示すとともに、仮名の発生について説明し、文字が果たしてきた役割や現代とのつながりを具体的に示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 毛筆の学びを生かして書く硬筆記入欄がある。 仮名の字源を示すとともに、仮名の発生について説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 毛筆の学びを生かして書く硬筆記入欄が豊富である。 仮名の字源を示すとともに、仮名の発生について説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 毛筆の学びを生かして書く硬筆記入欄を別冊で準備しており、豊富である。 仮名の字源を示している。
観点4 内容の表現・ 表記	<ul style="list-style-type: none"> 筆使いの特徴を点線や矢印などで示し、ポイントとなる部分をアイコンで示したり、解説を加えたりしている。 デジタルコンテンツは、執筆する動画をポイントが分かるように編集するとともに、音声によるポイント説明もあるため、実際の執筆の参考にしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆使いの特徴を点線や矢印などで示し、ポイントとなる部分に言葉による解説を加えている。 デジタルコンテンツは、姿勢や執筆法等についての動画のみで、執筆する動画はない。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆使いの特徴を点線や矢印などととも、ポイントとなる部分を拡大して示し、解説を加えている。 デジタルコンテンツは、執筆する動画に音声はついていないが、目標を読み上げるだけでポイント説明はない。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆使いの特徴を点線などで示し、ポイントとなる部分に言葉による解説を加えている。 デジタルコンテンツは、執筆する動画は、淡々と書き進むのみで、音声によるポイント説明はない。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことが、他教科等の学習や日常生活の中で生かせるように、目的の例や、国語や他教科等の学習と関連させた具体的な言語活動例と活動の手順を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことが、他教科等の学習や日常生活の中で生かせるように、国語や他教科等の学習と関連させた言語活動例と活動の留意点を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことが、他教科等の学習や日常生活の中で生かせるように、国語や他教科等の学習と関連させた言語活動例と活動の手順を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことが、学校生活の中で生かせるように、主に国語と関連させた言語活動例と留意点を示している。

	東書	教出	帝国	日文
観点1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間ごとの「学習課題」を示し、終末に「チェック」と「トライ」が設けられ、まとめと発展的学習ができるようになっている。 ・「基礎・基本のまとめ」のページで、編や章で学習した基礎的・基本的な知識や技能を確認できるようにしている。「スキル・アップ」のコーナーを設け、「略地図のえがき方」などの技能を身に付けるようにしている。「まとめの活動」で思考力・判断力・表現力に対応する課題を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間ごとの「学習課題」を示し、終末に「確認」と「表現」が設けられ、まとめと調べ学習ができるようになっている。 ・「学習のまとめと表現」のページで、基本的な用語の意味を説明し特色を文章で表現する活動を設定している。「地理にアプローチ」と「地理の技」のコーナーで「略地図の描き方」などの技能を身に付けるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間ごとの「学習課題」を示し、終末に「確認しよう」と「説明しよう」が設けられ、まとめと表現活動ができるようになっている。 ・「節の学習を振り返ろう」のページで、「知識」や「思考力・判断力・表現力」に対応する課題を示している。また、「技能をみがく」のコーナーを本文中に設け、略地図の描き方などの技能を身に付けるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間ごとの「学習課題」と「見方・考え方」を示し、学習の視点がわかるようになっている。終末には「確認」が設けられ、学習のまとめができるようになっている。 ・「学習のまとめ」のページで、基本的な知識を確かめるようになっている。「スキルUP」のコーナーを設け、資料の活用などについての技能を身に付けるようにしている。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・節ごとに「探究課題」を示すとともに、キャラクターの吹き出しを使って「学習の視点」も示している。節の最後には学習した内容を使って、探究課題に対する考えをまとめて表現できるようになっている。 ・地域調査について、調査の準備・調査方法・まとめ・発表について、バランスよくまとめ、見通しをもって学習を進めることができるようになっている。防災の視点も記述がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・節の導入部に「学習の視点」を示している。節の最後に「意見を交換しよう」という表現でまとめを促している。 ・地域調査について、調査の見通しをもたせるためのフローチャートを示している。調査の手法は豊富に示しているが、まとめや発表の記載が少なめである。防災の視点も記述がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・節の最初の小単元のページに「第〇節の問い」を示している。節の最後に「節の学習を振り返ろう」を設定し、ステップを踏みながら課題を考え表現できるようになっている。 ・地域調査について、調査の視点を豊富に示し、具体的事例も分かりやすく記載している。調査結果のまとめや発表についての説明は少なめである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・節の最初の小単元のページに「追究するテーマ」を示している。節の最後に学習のまとめのページを設定している。 ・地域調査テーマを決めるための「地域を見直す視点」を豊富に示している。調査の進め方やまとめや発表の仕方についても具体的事例を示し、見通しをもって学習を進めることができるようになっている。防災の視点も記述がある。
観点3 内容の構成・ 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・大単元の構成は適切であり、ページ数もバランスが取れている。また、統計資料や用語解説もある。 ・自然災害と防災への取組、地震や津波の原因や仕組み、被害、命を守る取組について記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大単元の構成は適切であり、ページ数もバランスが取れている。また、統計資料や用語解説もある。 ・日本で起こる自然災害、災害から身を守るためにどのような努力がなされているかについて記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大単元の構成は適切であり、ページ数もバランスが取れている。 ・日本の様々な自然災害、自然災害に対する備え、ハザードマップの読み取り方、防災情報の入手の仕方について記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大単元の構成は適切であり、ページ数もバランスが取れている。また、統計資料や用語解説もある。 ・日本で起こる自然災害、地域的特色、防災・減災の取組、避難行動、ハザードマップの使い方について記載している。
観点4 内容の表現・ 表記	<ul style="list-style-type: none"> ・写真、絵図、地図、表・グラフ等の資料を、適切にバランスよく掲載している。 ・フォント、グラフ、レイアウト等に、ユニバーサルデザインの配慮をし、配置、色使い等に統一感がある。本文ふり仮名の文字濃度を薄くしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真、絵図、地図、表・グラフ等の資料を、適切にバランスよく掲載している。 ・フォント、グラフ、レイアウト等に、ユニバーサルデザインの配慮をし、配置、色使い等に統一感がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真、絵図、地図、表・グラフ等の資料を、適切にバランスよく掲載している。 ・フォント、グラフ、レイアウト等に、ユニバーサルデザインの配慮をし、配置、色使い等に統一感がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真、絵図、地図、表・グラフ等の資料を、適切にバランスよく掲載している。 ・フォント、グラフ、レイアウト等に、ユニバーサルデザインの配慮をし、配置、色使い等に統一感がある。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ方の種類、具体例を豊富に記載しているので、言語活動の充実に向けた多様で主体的な学習活動の参考にしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ方の種類、具体例を豊富に記載しているので、言語活動の充実に向けた多様で主体的な学習活動の参考にしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ方の種類、具体例を豊富に記載しているので、言語活動の充実に向けた多様で主体的な学習活動の参考にしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ方の種類、具体例を豊富に記載しているので、言語活動の充実に向けた多様で主体的な学習活動の参考にしやすい。

種目名【社会（歴史的分野）】 総合所見一覧

	東書	教出	帝国	山川	日文	育願社	学び舎
観点1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の学習課題を設定し、学習課題に対応した2段階の学習活動を示している。 ・文化遺産には、「世界遺産」「世界の記憶」「国宝」「重要文化財」「無形文化遺産」のマークを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の学習課題を設定し、学習課題に対応した2段階の学習活動を示している。 ・文化遺産には、「世界遺産」「国宝」「重要文化財」のマークを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の学習課題を設定し、学習課題に対応した2段階の学習活動を示している。 ・文化遺産には、「世界遺産」「世界の記憶」「国宝」のマークを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の学習課題を、設定している。 ・文化遺産には、「世界遺産」「国宝」のマークを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の学習課題を、設定している。 ・文化遺産には、「世界遺産」「国宝」のマークを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の学習課題を、設定している。 ・文化遺産には、「世界遺産」「国宝」のマークを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化遺産は、世界遺産や国宝、史跡を、写真や地図で紹介している。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の導入において、興味・関心をもたせるための工夫が充実している。 ・キャラクターの問いかけから章及び各節の学習課題を導くよう構成しており、主体的な学習に取り組みやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の導入において、興味・関心をもたせるための工夫をしている。 ・キャラクターの話し言葉から、章の学習課題を導くよう構成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の導入において、興味・関心をもたせるための工夫をしている。 ・小単元の導入に「タイムトラベル」という見開き2ページの特設ページにより、絵図で歴史的事象を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の導入において、興味・関心をもたせるための工夫をしている。 ・日本史と世界史の主な歴史的事象の写真や絵図を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の導入において、興味・関心をもたせるための工夫をしている。 ・世界の動きが分かるように、地図や年表等を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の導入において、興味・関心をもたせるための工夫が充実している。 ・学習範囲を示す年表や歴史的事象を時系列に並べてキャラクターの言葉を掲載しており、主体的な学習に取り組みやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の導入において、興味・関心をもたせるための工夫をしている。 ・それぞれの歴史的事象が関連する位置を地図に示している。
観点3 内容の構成・ 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数304ページ ・各時代区分とも、適切な分量である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数310ページ ・各時代区分とも、適切な分量である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数306ページ ・各時代区分とも、適切な分量である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数294ページ ・各時代区分とも、適切な分量である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数328ページ ・各時代区分とも、適切な分量である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数314ページ ・各時代区分とも、適切な分量である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数306ページ ・各時代区分とも、適切な分量である。
観点4 内容の表現・ 表記	<ul style="list-style-type: none"> ・重要語句等の理解を視覚的に支援するために、適切に写真資料や図表等を掲載している。本文と資料のつながりを、分かりやすく示している。関連付けた絵図・写真等の総数は充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要語句等の理解を視覚的に支援するために、適切に写真資料や図表等を掲載している。本文と資料のつながりを、分かりやすく示している。関連付けた絵図・写真等の総数は充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要語句等の理解を視覚的に支援するために、適切に写真資料や図表等を掲載している。関連付けた絵図・写真等の総数は充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要語句等の理解を視覚的に支援するために、適切に写真資料や図表等を掲載している。関連付けた絵図・写真等の総数は充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要語句等の理解を視覚的に支援するために、適切に写真資料や図表等を掲載している。本文と資料のつながりを、分かりやすく示している。関連付けた絵図・写真等の総数は充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要語句等の理解を視覚的に支援するために、適切に写真資料や図表等を掲載している。本文と資料のつながりを、分かりやすく示している。関連付けた絵図・写真等の総数は充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵図・写真等の総数は充実している。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「基礎・基本のまとめ」と「まとめの活動」を段階的に位置付け、問いや着目させる視点を示すことで、自分の考えをまとめる学習へつなげている。また、章の導入で設定した探究課題とまとめが連動しているため、生徒が思考を整理し表現しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習のまとめと表現」では、5つないし6つの学習活動を設定した後、自分の考えをまとめる学習になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「章の学習を振り返ろう」では、2つの学習活動を段階的に設定し、問いや着目させる視点を示すことで、自分の考えをまとめる学習へつなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の「まとめ」では、その章に関係する複数の問いを用意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習の整理と活用」では、2つの学習活動を段階的に設定し、問いや着目させる視点を示すことで、自分の考えをまとめる学習へつなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習のまとめ」では、5つないし6つの学習活動を設定した後、自分の考えをまとめる学習になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習のまとめ」では、3つの学習活動を設定した後、自分の考えをまとめる学習になっている。

種目名〔社会（公民的分野）〕 総合所見一覧

	東書	教出	帝国	日文	自由社	育麟社
観点1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の学習課題を設定し、学習課題に対応した2段階の学習活動を示している。 ・「対立と合意」と「効率と公正」の理解を促すためのページがあり、資料での説明もある。また、課題を時系列で3つ示すなどの工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の学習課題を設定し、学習課題に対応した2段階の学習活動を示している。 ・「対立と合意」と「効率と公正」の理解を促すためのページがあり、資料での説明もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の学習課題を設定し、学習課題に対応した2段階の学習活動を示している。 ・「対立と合意」と「効率と公正」の理解を促すためのページがあり、資料での説明もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の学習課題を、設定している。 ・「対立と合意」と「効率と公正」の理解を促すためのページがあり、資料での説明もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の学習課題を、設定している。 ・「対立と合意」と「効率と公正」の理解を促すためのページがあり、1つの課題を順序立てて示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の学習課題を、設定している。 ・「対立と合意」と「効率と公正」の理解を促すためのページがあり、資料での説明もある。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・大単元の導入では、キャラクターの吹き出しに問いを示している。また、導入の活動を位置付け、大単元の「探究課題」と学習の見通しを示している。 ・課題解決の手順を、段階を追って進める手法を、例とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大単元の導入では、この大単元に関連する各節の写真に掲載している。また、導入の活動を位置付け、学習の見通しを示している。 ・課題解決の手順を、段階を追って進める手法を、例とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大単元の導入では、導入の活動を位置付け、既習内容の確認をしている。また、学習の見通しを示している。 ・課題解決の手順を、段階を追って進める手法を、例とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大単元の導入では、導入の活動を位置付け、学習の見通しを示している。 ・課題解決の手順を、段階を追って進める手法を、例とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大単元の導入では、単元で学ぶ内容を問いで示している。 ・課題解決の手順を、段階を追って進める手法を、例とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大単元の導入では、キャラクターの吹き出しに問いを示している。また、導入の活動を位置付け、学習の見通しを示している。 ・課題解決の手順を、段階を追って進める手法を、例とともに示している。
観点3 内容の構成・ 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 262 ページ ・単元や資料等の配列・分量は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 272 ページ ・単元や資料等の配列・分量は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 246 ページ ・単元や資料等の配列・分量は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 264 ページ ・単元や資料等の配列・分量は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 270 ページ ・単元や資料等の配列・分量は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総ページ数 254 ページ ・単元や資料等の配列・分量は適切である。
観点4 内容の表現・ 表記	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらいに沿って、絵図や写真、地図、表などを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらいに沿って、絵図や写真、地図、表などを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらいに沿って、絵図や写真、地図、表などを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらいに沿って、絵図や写真、地図、表などを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらいに沿って、絵図や写真、地図、表などを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらいに沿って、絵図や写真、地図、表などを掲載している。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> ・探究課題と連動したまとめを設定している。 ・「基礎・基本のまとめ」と「まとめの活動」を段階的に位置付け、探究課題に対する考えが整理できるように、探究のステップとして、段階を追って問いを示しており、自分の言葉で表現するための工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習のまとめと表現」にまとめ方として、STEP 1 から STEP 3 の流れで問いを示し、様々な角度から思考を深めながら自分の言葉で表現するための工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「章の学習を振り返ろう」に「知識」と「思考力、判断力、表現力」に関する2段階があり、「思考力、判断力、表現力」のページは、3ステップ構成で思考を深めながら自分の言葉で表現するための工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習の整理と活用」に3部構成で学習の整理ができるようになっており、思考を深めながら自分の言葉で表現するための工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習のまとめと発展」に2部構成でまとめができるようになっており、課題を選んで400字の文章でまとめる発展的な学習の設定がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1章を除いて「学習のまとめ」があり、資料を使って問題や言葉で説明する問題等を示し、思考を深めながら自分の言葉で表現するための工夫がある。

種目名【地図】 総合所見一覧

	東書	帝国
観点1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> ・地図の見方について、巻頭に「この地図帳の地図記号」と「この地図帳の活用方法」があり、一般図やテーマ地図、グラフ・写真などの資料の見方、三分野における活用方法を記載している。 ・「国土の地理的環境の例」では、「日本」で近隣諸国を含む日本全体や各地方の地理的環境を記載している。 ・「歴史的事象の例」は、「原子爆弾投下時の広島市」などを記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図の見方について、巻頭に「この地図帳の凡例」と「地図帳の使い方」があり、使用上の最初の確認事項、地図の要素、地図種類別の使い方、さくいんや統計等の使い方、地図活用の具体問題、二次元コードの使い方を記載している。 ・「国土の地理的環境の例」では、「日本のページ」で近隣諸国を含む日本全体や各地方の地理的環境を記載している。 ・「歴史的事象の例」は、「広島市中心部」「広島市付近にある水害の碑の分布」などを記載している。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・「現代社会の課題を解決するために『SDGs』を知ろう！」を設け、地図活用の視点として、17のゴールを示している。 ・資料の読解力を高めるために、「この地図帳でいっしょに『世界旅行』をする友達と先生」というキャラクターの吹き出しを設けている。 ・人口ピラミッドの読み取りや作成の技能を身に付けるための「スキル・アップ」や「みんなでチャレンジ」を設けている。 ・世界では州ごと、日本では地方ごとに、一般図の次に基本資料とテーマ資料を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に地図活用のヒントとなるマークについて記載しており、防災・環境・日本との結びつきの視点を示している。 ・地図活用の技能を身に付けるためのコーナー「地図活用」を各所に設定し、地図の読図や比較を通して、地図から分かることを整理したり、説明したりできるような問いを示している。 ・「地図活用」の回答が確認できるような二次元コードを掲載している。 ・緑の矢印で、別ページにある関連性の深い内容を示している。 ・世界では州ごと、日本では地方ごとに、一般図の次に資料を掲載している。
観点3 内容の構成・ 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・A4判で総ページ数は192ページ。重量は576グラム。 ・全体の構成は「世界」「日本」「統計」「さくいん」の4つに分類し、「世界」を「世界全体」と「州」に、「日本」を「日本全体」と「地方」で分類し色分けをしている。 ・防災教育についての4つの具体例を記載している。平成30年の西日本豪雨で起こった坂町の土砂崩れの写真を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A4判で総ページ数は188ページ。重量は517グラム。 ・全体の構成は「使い方・資料」「世界」「日本」「統計」「さくいん」の5つに分類し、色分けをしている。 ・防災教育についての12の具体例を記載している。広島市周辺のイラストの地形図に水害の碑がある場所と過去に土砂災害があった場所を記している。また、防災に関連する資料図には【防災】マークをつけ掲載している。
観点4 内容の表現・ 表記	<ul style="list-style-type: none"> ・資料等の活用方法の示し方として、関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料等の活用方法の示し方として、地図活用の技能を身に付けるための問いとなる「地図活用」のマークを記載していたり、資料図のページで扱ったテーマに対して図を見る時に着目する視点を示すため「学習課題」を設定したりしている。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地図を活用した表現の工夫としてキャラクターを設定し、地図の活用方法や課題を追究するための問いなどの吹き出しを設け記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図を活用した表現として、「学習課題」や「地図活用」のコーナーを設定し、地図の読図や比較を通して、地図から分かることを整理したり、説明したりできるような問いを設け記載している。

	東書	大日本	学図	教出	啓林館	数研	日文	
観点1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題を解決するための過程が適切である。単元の導入に学習課題に関連させ、章を通して身に付けさせたい力をタイトルと文章で示している。 学習内容の定着や既習事項の確認及び振り返りの問題を適量提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題を解決するための過程が適切である。単元の導入に学習課題に関連させ、章の学習内容を文章で示している。 学習内容の定着や既習事項の確認及び振り返りの問題を適量提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題を解決するための過程が適切である。 学習内容の定着や既習事項の確認の問題を適量提示している。振り返りの問題数がやや少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題を解決するための過程が適切である。 学習内容の定着や既習事項の確認の問題を適量提示している。振り返りの問題数がやや少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題を解決するための過程が適切である。 学習内容の定着や既習事項の確認及び振り返りの問題を適量提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題を解決するための過程が適切である。 学習内容の定着や既習事項の確認及び振り返りの問題を適量提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題を解決するための過程が適切である。単元の導入に学習課題に関連させ、章の学習目標を文章で示している。 学習内容の定着や既習事項の確認及び振り返りの問題を適量提示している。 	
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会とのかかわりのある題材が適切に取り扱われており、生徒の興味・関心を高めやすい。 巻頭に問題解決を進めるときの流れを記載している。本文の中に特設ページを設けていることで、この流れを生徒に意識させやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会とのかかわりのある題材が適切に取り扱われており、生徒の興味・関心を高めやすい。 巻頭に問題解決を進めるときの流れを記載している。本文の中にもサイドバーで記載しているところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会とのかかわりのある題材が適切に取り扱われており、生徒の興味・関心を高めやすい。 巻頭に問題解決を進めるときの流れを記載している。本文の中にもサイドバーで記載しているところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会とのかかわりのある題材が適切に取り扱われており、生徒の興味・関心を高めやすい。 巻頭に問題解決を進めるときの流れを記載している。本文の中にもサイドバーで記載しているところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会とのかかわりのある題材が適切に取り扱われており、生徒の興味・関心を高めやすい。 巻頭に問題解決を進めるときの流れを記載している。本文の中にも記載しているところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会とのかかわりのある題材が適切に取り扱われており、生徒の興味・関心を高めやすい。 問題解決を進めるときの流れはノート指導の中に記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会とのかかわりのある題材が適切に取り扱われており、生徒の興味・関心を高めやすい。 巻頭に問題解決を進めるときの流れを記載している。 	
観点3 内容の構成・ 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> 単元や資料等の配列は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元や資料等の配列は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元や資料等の配列は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元や資料等の配列は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元や資料等の配列は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元や資料等の配列は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元や資料等の配列は適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元や資料等の配列は適切である。
観点4 内容の表現・ 表記	<ul style="list-style-type: none"> キャラクター、イラストや写真、デジタルコンテンツを適切に扱っている。 巻頭にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。対応する箇所には、Dマークを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> キャラクター、イラストや写真、デジタルコンテンツを適切に扱っている。 巻頭にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。対応する箇所には、WEBマークを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> キャラクター、イラストや写真、デジタルコンテンツを適切に扱っている。 巻頭にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。対応する箇所にある二次元コードから、コンテンツにアクセスできる。 	<ul style="list-style-type: none"> キャラクター、イラストや写真、デジタルコンテンツを適切に扱っている。 巻頭にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。対応する箇所には、まなびリンクマークを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> キャラクター、イラストや写真、デジタルコンテンツを適切に扱っている。 巻頭にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。対応する箇所にある二次元コードから、コンテンツにアクセスできる。 	<ul style="list-style-type: none"> キャラクター、イラストや写真、デジタルコンテンツを適切に扱っている。 巻頭にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。対応する箇所には、4種類のリンクマークを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> キャラクター、イラストや写真、デジタルコンテンツを適切に扱っている。 巻頭にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。対応する箇所には、WEBマークを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> キャラクター、イラストや写真、デジタルコンテンツを適切に扱っている。 巻頭にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスできる。対応する箇所には、WEBマークを示している。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> 特設ページを設け、ノートやレポートのかき方を具体的に示しており、自分の考えをまとめさせるために活用しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 特設ページを設け、ノートやレポートのかき方を示しているが、ノートの扱いが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 特設ページを設け、ノートやレポートのかき方を示しているが、ノートの扱いが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 特設ページを設け、ノートやレポートのかき方を具体的に示しており、自分の考えをまとめさせるために活用しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 特設ページを設け、ノートやレポートのかき方を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 特設ページを設け、ノートやレポートのかき方を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 特設ページを設け、ノートやレポートのかき方を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 特設ページを設け、ノートやレポートのかき方を具体的に示している。本文中に生徒レポートを例示した記載がある。

種目名〔理科〕 総合所見一覧

	東書	大日本	学図	教出	啓林館
観点1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入で、写真を示し、それに対する疑問や疑問によって、生徒が自由に意見を述べられるようにしている。また、「Before&After」というコーナーを設け、生徒が学習前後で自らの考えを比較することができるようにしている。 観察、実験の大まかな手順を「ステップ」で示し、写真を活用して説明するとともに、補足は「鍵マーク」、安全の配慮は6種類の「注意マーク」を付し、赤字で理由や対処の方法を強調することで、安全を確保できるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入で、写真とタイトルを示し、その単元で学習する各章のタイトルと学習課題を示している。 観察、実験の手順を番号と主にイラストで説明し、実験の補足は「コンマーク」、安全の配慮は「注意マーク」を付し、理由と対処方法を背景が黄色の枠で強調し、安全を確保できるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入で、写真とタイトルを示している。また、「学びのあしあと」というコーナーを設け、生徒が学習前後で自らの考えを比較することができるようにしている。 観察、実験の手順を番号と写真で説明し、実験の補足は「ポイントマーク」、安全の配慮は「ストップ!!マーク」を付し、理由と対処方法を黄色の背景に赤字で強調し、安全を確保できるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入で、写真とタイトルを示し、学習内容を文章で示している。 観察、実験の手順を番号とイラストで説明し、安全の配慮は「禁止マーク」や「注意マーク」を付し、理由や対処の方法を赤字で強調している。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入で、学習内容をタイトルと写真の説明文、イラストで示している。また、「学ぶ前にトライ!」「学んだ後にリトライ!」というコーナーを設け、生徒が学習前後で自らの考えを比較することができるようにしている。 観察、実験の大まかな手順を「ステップ」で示し、番号とイラストで説明し、実験の補足は「ポイントマーク」、安全の配慮は「!マーク」と説明で示し、8種の「安全マーク」を付し、安全を確保できるよう工夫している。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 「つながる科学」など3種類のコラムで、学習内容と科学に関する歴史や暮らしなどを関連付けた読み物を示している。 各学年の巻頭に「科学で調べていこう」というコーナーを設け、探究の過程を示している。また、ページ下部に「問題発見」「?」「仮説」「実験」などのキーワードを色付きで配列し、当該ページが探究の過程のどの部分を扱っているか強調している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「くらしの中の理科」など4種類のコラムで、学習内容が日常生活、社会でどのように活用されているか、また、職業や科学者などに関する内容を示している。 第1学年の巻末に「探究の進め方」というコーナーを設け、探究の過程を示している。また、「問題を見つけよう」「結果から考えよう」等のマークとその色で、学年ごとに重点を置く探究の過程を強調して示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「なぜ理科を学ぶの?」など4種類のコラムで、学習内容が日常生活、社会でどのように役立っているかを示している。 各学年の巻頭に「探究の進め方」というコーナーを設け、探究の過程を示している。また、「問題」等のキーワードで、重点を置く探究の過程を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ハローサイエンス」で、科学の話題や日常生活や社会で学習内容がどのように役立っているかを示している。 各学年の巻頭に「探究の進め方」というコーナーを設け、探究の過程を示している。また、「疑問から探究してみよう」を各単元に設定し、探究の過程に沿った学習活動を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「部活ラボ」等、日常生活の具体的な場面ごとに整理した7種類のコラムで、日常に学習内容がどのように活用されているかを示している。 各学年の巻頭及び巻末に、探究の過程を示している。また、各単元に「探Q実験」を設定し、巻末の付録「探Qシート」に書き込むことで、探究の過程に沿った学習活動ができるようにしている。
観点3 内容の構成・ 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりを各学年に豊富に掲載している。また、理科の資質・能力が高まりやすい第3学年での数が最も多い。 補充的な観察・実験や、発展的な学習を豊富に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりを各学年に豊富に掲載している。 補充的な観察・実験や、発展的な学習を豊富に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりを各学年に掲載している。 補充的な観察・実験や、発展的な学習を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりを各学年に掲載している。 補充的な観察・実験や、発展的な学習を豊富に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりを各学年に豊富に掲載している。 補充的な観察・実験や、発展的な学習を豊富に掲載している。
観点4 内容の表現・ 表記	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭の数ページに写真を掲載し、生徒に疑問を持たせやすくしている。また、巻末は、観察、実験に必要な知識を資料としてまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭で学習内容に関する仕事を紹介し、「理科の学習の進め方」では、探究的な学習の進め方を説明し、学年による重点を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ミッションX OOOO」というコーナーを設け、写真やイラストを多用し、社会の中で理科の知識が生かされている場面を紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自然の探究」というコーナーを設け、写真や課題の設定を促す説明を掲載し、「探究の進め方」では、課題の設定からレポートのまとめ方まで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭に探究につながる写真を掲載している。また、巻末の「探究もフェアプレイで」と題して、データの取扱いや引用するときの注意を示している。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> 「構想 調べ方を考えよう」等で観察、実験を計画する視点を、「結果の見方」等で分析・解釈する視点を示している。 全学年でレポートの作成方法を扱っている。定型の説明に加え、各学年の学習内容に対応した補足説明もあり、生徒の主体的な言語活動を促しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「計画を立てよう」等で観察、実験する視点を、「結果の整理」等で分析・解釈する視点を示している。 第1学年の巻末でレポートの作成方法を扱っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「計画」等で観察、実験する視点を、「結果」の見方・考え方」等で分析・解釈する視点を示している。 全学年でレポートの作成方法を扱っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「計画を立てる」等で観察、実験する視点を、「結果」等で分析・解釈する視点を示している。 全学年でレポートの作成方法を扱っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「計画」等で観察、実験する視点を、「結果」等で分析・解釈する視点を示している。 全学年でレポートの作成方法を扱っている。

種目名〔音楽（一般）〕 総合所見一覧

	教出	教芸
観点1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> 目次のページの次に「学びのユニット」のページがあり、各題材のねらいや主要教材等を、音楽を形づくっている要素で周りを囲み、「学びのユニット」として示している。学習目標は、各教材のページの左端又は右端に縦書きで示している。その下に「(⇒) 比べてみよう」「(+) 深めてみよう」があり、学びを深めることができるよう、主要教材と関連付けて学習できる教材を示している。鑑賞領域を扱った題材の教材名の下には、学習目標達成を支援するための文章がある。 全学年を通して「Let's Sing!」という項目を設け、歌うためのワンポイント・アドバイスを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 目次のページの次に「学習内容」のページがあり、三つの資質・能力と、それに対応する学習内容や教材を図示している。学習目標は、各教材のページの左端又は右端に縦書きで示し、その下に重点的に扱う音楽を形づくっている要素を示している。教材名の下に、学習目標達成を支援するために、着目点を明確にした活動文がある。 全学年を通して「My Voice!」という項目を設け、発達段階に応じて歌唱技能のポイントや注意点を示している。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱の冒頭の「学びのユニット」に、「ACTIVE!」のページを配置し、気づいたことを書かせたり交流させたりしながら、歌唱表現を工夫していくことができるようにしている。 「郷土の音楽や芸能」といった音や音楽と生活との関わりについて扱う題材や、「私たちのくらしと音楽」、各学年の「作者の思いにふれる」等の「学習資料」を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「深めよう!音楽」のコーナーでは、キャラクターの吹き出しで具体的な例を示しながら、歌唱表現を工夫していくことができるようにしている。 「ポピュラー音楽」といった音や音楽と生活との関わりについて扱う題材や、各学年に表現者からのメッセージや「生活や社会の中の音楽」、「音楽ってなんだろう?」等を掲載している。
観点3 内容の構成・ 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> 教材は、歌唱教材、創作、鑑賞教材の順に配列しており、続いて「深めてみよう」の歌唱教材・鑑賞教材、合唱曲集、国歌、楽典、資料の順に配列している。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽1の教材は、歌唱教材、鑑賞教材、合唱曲集、楽典、国歌の順で配列しており、創作に関しては、関連歌唱教材、鑑賞教材の後に配列している。音楽2・3年上、下では、歌唱教材、創作、鑑賞教材、合唱曲集、楽典、国歌の順で配列している。
観点4 内容の表現・ 表記	<ul style="list-style-type: none"> 「学びのユニット」の図で音楽を形づくっている要素を示すと共に、音楽1と音楽2・3年上では、「どんな特徴があるかな?」のページがあり、音楽を形づくっている要素を掲載し、そのはたらきに着目した話し合い活動を設定している。音楽1と音楽2・3年上に「指揮をしてみよう」を掲載し、指揮から音楽の特徴を捉えさせるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教材の学習目標の下に、音楽を形づくっている要素を示しており、分かりやすい。各学年に資料として、音楽を形づくっている要素の内容を掲載し、題材との関わりが分かるようページや曲名を示している。各学年に「指揮をしてみよう!」を掲載し、指揮から音楽の特徴を捉えさせるようにしている。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> 「話し合おう」という吹き出しで、考える視点や話し合う視点を明確に示したり、自分の考えや気づきを書いたりできるようになっており、言語活動を充実させるための工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 旋律、音色、強弱等、音楽から聴き取ったことと自分の考えを整理できるワークシートや、キャラクターの吹き出しで【共通事項】に着目した工夫の仕方等を示し、生徒の思いや意図を明確にした言語活動を充実させるための工夫がある。

	教出	教法
観点1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> 目次では、各楽器の演奏法の基本を習得する「演奏の仕方を身につけよう」、習得した技能を生かして合奏表現する部分「合わせて演奏しよう」に分けて示している。 リコーダーの学習では、始めのページに楽器名・楽器概説、演奏写真と演奏者から中学生へのメッセージ等を掲載している。「姿勢とかまえ方」では、アルト・リコーダーとソプラノ・リコーダーを構えて斜めから見た写真を各1枚掲載しており、写真の中に、「～しよう」等のポイントを文章で掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 目次に続くページでは、三つの資質・能力と、それに対応する学習内容や教材を図示しており、各教材で何を学習するのが分かりやすい。 リコーダーの学習では、始めのページに楽器名、演奏写真、鑑賞曲2曲、「楽器を知ろう」等を掲載している。「姿勢と構え方」では、アルト・リコーダーを構えて、正面と真横から見た写真2枚を掲載しており、写真の中に、ポイントを短い文で掲載している。また、トーン ホールの閉じ方のイラストや、マウスピースのくわえ方の悪い例をイラストで2種類掲載しており、生徒のつまづきを想定した内容の掲載がある。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 箏の学習展開では、名称やかまえ方、基礎的な奏法を写真と説明書きで示し、練習曲1、2と箏の曲「さくらさくら」、そして箏での創作まで順を追って掲載している。箏曲の冒頭部分の演奏や、鑑賞にもつなげてある。 	<ul style="list-style-type: none"> 箏の学習展開では、名称や構え方、基礎的な奏法を写真と説明書きで示し、箏の曲を3曲掲載している。「いろいろな奏法」が写真と説明書きで示してあり、次の曲に生かせるようになっている。学習の最後には、「My Melody」として手順を分かりやすく示した創作活動が設定されており、主体的に学習に取り組むための工夫がある。
観点3 内容の構成・ 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> リコーダー、篠笛、尺八、ギター、箏、三味線、太鼓の7種類を扱っている。 	<ul style="list-style-type: none"> リコーダー、ギター、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八、打楽器の8種類を扱っている。
観点4 内容の表現・ 表記	<ul style="list-style-type: none"> 「合わせて演奏しよう」では、各教材名の下に音楽を形づくっている要素に関連させて「学びのポイント」を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「アンサンブルセミナー」「My Melody」では、各教材の学習目標の下に重点的に扱う音楽を形づくっている要素を示している。また、「アンサンブル」で扱う各教材名の横には、音楽を形づくっている要素に関連させためあてが示してあり、分かりやすい。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> 「話し合おう」という吹き出しで、自分の意見をまとめたり話し合ったりできる工夫がある。また、「音のスケッチ」には、グループで話し合い、楽曲の構成を工夫しながら表現できる工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 「アンサンブルセミナー」では、「深めよう！音楽」のコーナーを設け、学習の流れに沿って登場するキャラクターの吹き出しにより、考える観点を例示しながら、言語活動が深まるような工夫がある。

	開隆堂	光村	日文
観点1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> ・題材を通して身につけたい力を「知」「思」「学」の漢字のマークで示している。 ・「学習のポイント」や「発想・構想の方法や学習の進め方」など、〔共通事項〕に着目するように促すコメントをマークとともに掲載している。 ・巻末に「学びの資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を幅広く掲載している。 ・形や色彩、材料や用具の取扱い等に関する動画のQRコードとともに、動画の掲載をマークで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材で身につける力を「目標」として題材名の下に示し、活動の手立てとなる文章を「表現」と「鑑賞」の領域で区分して示している。 ・ページの構成を表現と鑑賞の活動に区分し、はじめに〔共通事項〕を視点とした活動を促す文章を掲載している。 ・巻末に「学習を支える資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を幅広く掲載している。 ・形や色彩、材料や用具の取扱い等に関する動画の二次元コードとともに、動画の内容を示している。特に、第1学年で動画を豊富に掲載しており、基礎・基本の定着につながる工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとに身につけたい力を、独自のマークで示している。 ・「造形的な視点」を吹き出して示し、〔共通事項〕に着目するように促したり、〔共通事項〕に着目した活動を促す資料や文章を掲載したりしている。 ・巻末に「学習を支える資料」を設け、鑑賞用の資料とともに、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を幅広く掲載している。 ・形や色彩、材料や用具の取扱い等に関する動画の二次元QRコードを掲載している。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・作家や生徒の作品を掲載するとともに、生徒の活動の様子を写真で示すことによって、興味・関心を高めている。 ・作品全体を折り曲げの大型図版で掲載し、作品全体を拡大したり、一部を原寸大の図版で示したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作家や生徒の作品を掲載するとともに、生徒の様子を学習活動の過程に分けて写真で示す等により、興味・関心を高めている。 ・作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部や全体を拡大したり、原寸大の図版で示したりしている。 ・実際の作品の仕上がりに近付けたり、作者の表現の工夫を、書き込んだりすることで、実感を伴って理解できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作家や生徒の作品を掲載するとともに、生徒の活動の様子を写真で示すことによって、興味・関心を高めている。 ・作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部や全体を拡大したり、一部を原寸大で示したりしている。
観点3 内容の構成・ 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・題材を「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「鑑賞」の3つの分野と「まとめ」「学びの資料」等に分けて配列している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材を「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」の2つの分野と「学習を支える資料」等に分けて配列している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材を「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」の2つの分野と「オリエンテーション」「学習を支える資料」に分けて配列している。
観点4 内容の表現・ 表記	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れに沿って、活動ごとに写真等とコメントで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主題設定から制作の過程に至る具体例を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れに沿って、活動を促すコメントを示している。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習のポイント」に、対話を促す記述がある。 ・作家や生徒の作品を掲載するとともに、表現意図や作者の言葉を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒作品に作者の言葉を掲載し、発想のヒントや作品の意図、作者の思いがわかるようにしている。 ・「発想を広げる」のページを設け、様々な発想法を示すとともに、言語活動を使った例を複数示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品から作者の意図や工夫を読み取り、対話を促す記述がある。 ・「造形的な視点」を吹き出して示すことで、対話を促している。

種目名〔保健体育〕 総合所見一覧

	東書	大日本	大修館	学研
観点1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> ・習得すべき基本用語を「キーワード」として強調し、学習課題と共に示している。また、巻末に「キーワードの解説」を掲載している。 ・各章末「学習のまとめ」に、「確認の問題」「活用の問題」「日常生活に生かそう」を掲載し、実生活に生かすことができるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・習得すべき基本用語を「キーワード」として強調して示している。また、各章末「学習のまとめ」の「重要な言葉」として解説している。 ・各章末「学習のまとめ」で、重要語句や要点を再確認できるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・習得すべき基本用語を「キーワード」として強調して示している。また、巻末に「用語解説」を掲載している。 ・各章末「章のまとめ」に、3つの柱に沿った「知識・技能の確認問題」「思考・判断・表現の問題」「学びに向かって」「学習の振り返り」を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・習得すべき基本用語を「キーワード」として強調して示している。 ・各章末「章のまとめ」に、「振り返ろう」「確かめよう」「生かそう」「生活への活用」を掲載し、実生活に生かすことができるよう工夫している。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題の解決」に、課題の解決に向けて主体的に思考、判断、表現させるための発問や、習得した知識及び技能を活用し、より深く思考、判断、表現させるための活動を掲載している。 ・「広げる」に、自他の生活に当てはめて考えるなどの活動を掲載しており、実践力の基礎を育てることにつながる。 ・「D」マークコンテンツ内容一覧を「この教科書の使い方」に示しており、生徒の学習を支援することができ、主体的な学びを促しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」に、本文や資料を活用しながら、いろいろな学習活動に取り組み、解決させるための課題を掲載している。 ・「活用して深めよう」に、学習したことを整理し、実生活に活かしたり、学びを深めたりさせる活動を掲載している。 ・WEBサイトで、「まとめの問題」を設け、学習内容を確認できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題をつかむ」に、これまでの経験や学習を思い出しながら、問題を解いたり、意見を出し合ったりさせる活動を掲載している。 ・「学習のまとめ」に、学習内容を日常生活に生かしたり、確認したりする活動を掲載している。 ・「Web 保健情報館」で、動画や関連サイトによって、学習できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「考える・調べる」に、学習した知識や情報を基に、考えたり、調べたり、話し合ったりさせる活動を掲載している。 ・「まとめる・深める」に、学習を通して理解したことをまとめたり、伝えたりして深める活動を掲載している。 ・「教科書サイト」で動画や関連サイトによって、学習できるようにしている。
観点3 内容の構成・ 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・保健編から体育編へと配列している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育編から保健編へと配列している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育編から保健編へと配列している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育編から保健編へと配列している。
観点4 内容の表現・ 表記	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の中で、学習内容に関連した写真やイラストを掲載するとともに、各時間の学習の流れを示しており、生徒が見通しをもって課題解決に取り組みやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の中で、学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の中で、学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の中で、学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「保健体育の学習方法」に、「課題学習」「情報の収集」「事例などを用いたディスカッション」「ブレインストーミング」「ロールプレイング」等の解説を、イラストを交えて掲載している。具体例等が豊富であり、生徒の説明や話し合いを促しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「保健体育の学び方」に、「ブレインストーミング」「ロールプレイング」「フィールドワーク」等の解説を、イラストを交えて掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「保健体育の学び方」に、「ブレインストーミング」「ディスカッション」「インタビュー・アンケート・実地調査」「課題学習」等の解説を、写真とイラストを交えて掲載している。具体例等が豊富であり、生徒の説明や話し合いを促しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「さまざまな学習方法」に、「事例を用いたディスカッション」「ブレインストーミング」「課題学習」「調査方法」の解説を、イラストを交えて掲載している。具体例等が豊富であり、生徒の説明や話し合いを促しやすい。

	頁書	教図	開隆堂
観点1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> 各内容とも、項目ごとに、「目標」マークを付け、目標を示すとともに、「キーワード」マークを付け、関連する語句を示している。 目標とキーワードをセットで示している。 「Dマーク」を示し、デジタルコンテンツを利用し、学習できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各内容とも、項目ごとに、「めあて」マークを付け、目標を示すとともに、「キーワード」マークを付け、関連する語句を示している。 目標とキーワードをセットで示したり、目標のみを示したりしている。 「QRコード」を示し、デジタルコンテンツを利用し、学習できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各内容とも、項目ごとに、「学習の目標」の囲みを設け、目標を示している。 目標のみを示している。 「QRコード」を示し、デジタルコンテンツを利用し、学習できるようにしている。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 「技術の見方・考え方」をガイダンス、各内容の最初の見開きで示している。また、技術の最適化に関連する内容を、マークを付けて示している。さらに、最適化については、ガイダンスにおいて、生徒が理解しやすいよう漫画で示している。 ガイダンスにおいて、技術による問題解決の学習過程を示している。また、製作実習例においても、「問題の発見」、「課題の設定」の具体例と、製作（制作）・育成の手順を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各内容の最初の見開きで、各内容における技術の発展の具体例を取り上げるとともに、技術を最適化する際の着目する視点について示している。 製作実習例において、製作（制作）・育成の手順を示しており、問題の解決の学習過程の具体例も掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「技術の見方・考え方」をガイダンス、各内容の振り返り、巻末の振り返りで示している。また、「技術の見方・考え方」については、ガイダンスにおいて電気ストーブで具体例を示しており、理解を促しやすい。さらに、技術の最適化に関連する内容について、マークを付けて示している。 ガイダンスにおいて、技術分野の学習の流れとして学習過程を漫画で解説している。また、全ての製作実習例においても、学習過程が一目で分かるように掲載してあるので、生徒に学習過程を意識させやすい。
観点3 内容の構成・ 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> 実践的・体験的な学習の具体例として、4つの内容全てにおいて、製作（制作）実習例を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 実践的・体験的な学習の具体例として、4つの内容全てにおいて、製作（制作）実習例を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 実践的・体験的な学習の具体例として、4つの内容全てにおいて、製作（制作）実習例を掲載している。
観点4 内容の表現・ 表記	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の各教科等の学習内容との関連については、「他教科」マークとともに、教科、学年、単元概要を示している。また、小学校の各教科等の学習内容との関連については、「小学校」マークを示し、教科、学年、単元概要を示している。 工具や道具類の図中では、説明とともに矢印や囲みを使って動かす方向や拡大図などを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校及び小学校の各教科等の学習内容との関連については、「リンク」マークとともに、教科を示している。 工具や道具類の図中では、説明とともに矢印や囲みを使って動かす方向や拡大図などを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の各教科等の学習内容との関連については、「他教科」マークとともに、教科、学年、単元概要を示している。また、小学校の各教科等の学習内容との関連については、「小学校」マークを示し、教科、学年、単元概要を示している。 工具や道具類の図中では、説明とともに縁取りがついた矢印や囲みを使って動かす方向や拡大図などを示して、分かりやすいように工夫している。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> 「調べてみよう」、「やってみよう」、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」等で、生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習の活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「やってみよう」で、生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習の活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「調べてみよう」、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」、「確認してみよう」、「やってみよう」等で、生活や社会をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習の活動を設定している。

種目名〔技術・家庭（家庭分野）〕 総合所見一覧

	東書	教図	開隆堂
観点1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> 学習項目ごとに「目標」を、「～について理解できる。」「～を選択できる。」「～を計画できる。」「～の調理ができる。」など、文末を「できる」と統一した文章で、1つ又は2つ示している。 各編のはじめのページとDマークコンテンツ一覧にQRコードを掲載しており、学習内容に関連している動画等を見ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習項目ごとに「めあて」を、「～を理解する。」「～を深める。」「～を見つめる。」「～ができる。」などの文章で、1つ又は2つ示している。 見開き右ページの上にQRコードを掲載しており、学習内容に関連している動画等を見ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習項目ごとに「学習目標」を、「～について理解する。」「～を知る。」「～を考える。」「～がわかる。」「～ができる。」などの文章で、1つ又は2つ示している。 見開き右ページの下にQRコードを掲載しており、そのページのQRマークの学習内容に関連している動画等を見ることができる。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 各編の導入において、関連する生活の営みに係る見方・考え方を確認し、見直しをもって学習できるよう、見方・考え方をマークやキーワードで例示したり、キャラクターの吹き出しの言葉で見方・考え方に気付かせたりする工夫がある。 「選択 生活の課題と実践」では、生活の課題と実践の進め方、課題の決め方、まとめと発表の仕方、実践例を示している。また、生徒のレポート等の実践例を豊富に掲載しており、主体的な学習を促しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学習の導入の「見つめる」において、生徒と教師との対話等の場面を示し、吹き出しを用いて、生活の営みに係る見方・考え方の視点を例示している。 「選択 生活の課題と実践～生活をよりよくしよう～」では、生活の課題と実践のポイント、学習の流れ、実践例を示している。生徒の実践例は、掲載していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 「家庭分野のガイダンス」において、「生活の見方・考え方」として生活の営みに係る見方・考え方について解説したり、「本書の特色」として内容ごとに生活の営みに係る見方・考え方を働かせる例を示したりしている。 「生活の課題と実践」として、生活の課題と実践の進め方、実践のまとめ方、実践を示している。また、生徒の実践例が少ない。
観点3 内容の構成・ 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> 加熱調理法として、「いためる」、「焼く」、「ゆでる」、「煮る」、「蒸す」、「レンジ」の6種類のマークを示すとともに、それに合わせて、多様な具体例を掲載している。 布を用いた物の製作例として、具体例を豊富に掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 加熱調理法として、「焼く」、「煮る」、「蒸す」の3種類のマークを示している。 布を用いた物の製作例として、具体例が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 加熱調理法として、「焼く」、「煮る」、「蒸す」の3種類のマークを示している。 布を用いた物の製作例として、具体例が少ない。
観点4 内容の表現・ 表記	<ul style="list-style-type: none"> 「リンク」マークや「他教科」マークで、各教科等の学習内容との関連を示している。また、関連する他教科の動画等をコンテンツで見ることができる。 内容ごとに基本色を設定し、見開き右ページの上にインデックスを大きく示し、分かりやすい。 色つき円グラフ等でデータの境目を白抜きして、区別している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「リンク」マークで、各教科等の学習内容との関連を示している。 内容ごとに基本色を設定し、見開きの左ページの上及び右ページの右端にそれぞれインデックスを示している。 色つき円グラフ等でデータの境目を白抜きして、区別している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「リンク」マークで、各教科等の学習内容との関連を示している。 内容ごとに基本色を設定し、見開きの左ページの上にインデックスを示している。 色つき円グラフ等でデータの境目を黒線で区別している。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> 「話し合ってみよう」、「発表しよう」等の問いかけでは、生活をよりよくするための視点を明確に示し、言語活動の充実につなげやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話し合ってみよう」、「聞いてみよう」等の問いかけでは、生活をよりよくするための視点を明確に示し、言語活動の充実につなげやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話し合ってみよう」、「発表しよう」等の問いかけでは、生活をよりよくするための視点を明確に示し、言語活動の充実につなげやすい。

	東習	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館
観点1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに目標を示している。第2学年以降は「題材」「活動」に分けて目標を示している。 同じ文法事項を、多くの単元等で扱っており、生徒が繰り返し触れることができ、定着を図ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに、3つの観点で目標を示している。 同じ文法事項を、複数の単元等で扱っており、定着を図ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに関連している領域における目標を示している。 同じ文法事項を、複数の単元等で扱っており、定着を図ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元のパートごとに目標を示している。 同じ文法事項を、多くの単元等で扱っており、生徒が繰り返し触れることができ、定着を図ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに、関連している領域における目標を示している。 同じ文法事項を、多くの単元等で扱っており、生徒が繰り返し触れることができ、定着を図ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに目標を示している。第2学年以降は単元のパート及び領域における目標を示している。 同じ文法事項を、多くの単元等で扱っており、生徒が繰り返し触れることができ、定着を図ることができる。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 生徒にとって身近に感じられる多様な場面で言語活動を設定している。 単元末で、単元の目標に対応した統合的な言語活動を設定し、単元の目標に対する振り返りを行い、評価するよう設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒にとって身近に感じられる場面で4技能全てを扱う言語活動を設定している。 単元内で、単元の目標に対する振り返りを行い、評価するよう設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒にとって身近に感じられる多様な場面で言語活動を設定している。 単元の目標に対する振り返りを設定していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒にとって身近に感じられる場面で言語活動を設定し、そこで使われる表現を紹介している。 単元末で、単元の振り返りを行い、評価するよう設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒にとって身近に感じられる場面で4技能全てを扱う言語活動を設定している。 単元末で、単元の目標に対応した統合的な言語活動を設定し、単元の目標に対する振り返りを行い、評価するよう設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒にとって身近に感じられる多様な場面で言語活動を設定している。 単元の目標に対する振り返りを設定していない。
観点3 内容の構成・ 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年の導入段階で、小学校の学習を音声から文字へ段階的に復習する言語活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年の導入段階で、小学校の学習を復習する言語活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年の導入段階で、小学校の学習を復習する言語活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年の導入段階で、小学校の学習を音声から文字へ段階的に復習する言語活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年の導入段階で、小学校の学習を復習する言語活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年の導入段階で、小学校の学習を復習する言語活動を設定している。
観点4 内容の表現・ 表記	<ul style="list-style-type: none"> 生徒がイメージしながら語や意味を確認できるよう、イラスト入りのジャンル別語彙リストがある。 巻末に、当該学年の学習到達目標と、それに至るまでの目標を3段階で示している。さらに、他学年および高等学校の英語学習の到達目標も示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本動詞を用いた言語活動に取り組めるように、カルタ式「アクションカード」を添付している。 巻末に、3学年とも共通で、3年間の学習到達目標を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ロールプレイ形式で実践を想定してやり取りすることができるよう、補助教材を設定している。 巻末に、当該学年の学習到達目標を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 赤フィルムシートを用いて、学習した語や重要構文等を復習できるよう構成している。 巻末に、当該学年の学習到達目標を示している。さらに、他学年の到達目標も示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 即興的に相手とやり取りすることができるよう、補助教材を添付している。 巻末に、当該学年の学習到達目標を2～3段階で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の学習で、自己表現する際に活用できる語や表現のリストがある。 巻末に、当該学年の学習到達目標を3段階で示している。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや気持ちなどを伝える活動が段階的に設定され、言語活動を通して発展的な学習となる工夫がある。 単元末や各学期末に、モデルを参考にして、自分の考えなどを多様な方法で発表する活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや気持ちなどを伝える活動が段階的に設定され、言語活動を通して発展的な学習となる工夫がある。 各学期末に、モデルを参考にして、自分の考えなどを多様な方法で発表する活動と自己評価による振り返りを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや気持ちなどを伝える活動が段階的に設定している。 各学期末に、モデルを参考にして、効果的な読み方や聞き手を意識して自分の考えなどを多様な方法で発表する活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや気持ちなどを伝える活動が段階的に設定している。 各学期末に、モデルを参考にして、自分の考えなどを発表する活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや気持ちなどを伝える活動を設定している。 単元末や各学期末に、モデルを参考にして、自分の考えなどを発表する活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや気持ちなどを伝える活動を設定している。 各学期末に、モデルや例文を参考にして、自分の考えなどを多様な方法で発表する活動を設定している。

種目名〔道徳〕 総合所見一覧

	東書	教出	光村	日文	学研	廣あかつき	日科
観点1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れをショートストーリーで解説するとともに、話し合いの手引きを示している。 教材の中心発問と自己を振り返る一般化の発問を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れを示すとともに、教材を7つのテーマに分類して掲載している。 教材の中心発問、自己を振り返る一般化の発問等を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れとともに、1年間の学びの流れを示している。 教材のめあてや教材の中心発問、補助発問等を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学び方を3つのステップで解説するとともに、教材を現代的課題の10に分類して掲載している。 教材の中心発問や主題に関わる発問等に精選され、別冊の「道徳ノート」に書き込めるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れを4つのステップで解説するとともに、内容項目と教材名を4つの視点に分類して掲載している。 主題に関わる発問と自己を見つめる発問等を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動を解説するとともに、巻末に4つの視点に分類した内容項目と教材名を掲載している。 教材のめあてや補助発問、中心発問、自己を振り返る発問等を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れとともに、4つの視点と内容項目を掲載している。 教材の補助発問や中心発問等を掲載している。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるよう、2つの教材を配置している。 直前の教材に関連した体験的な学習を促す教材を掲載し、目次及び該当ページにマークを示す工夫があり、生徒の主体的な学びを促しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるよう、教材文の終わりに発問を設定している。 直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設け、該当ページにマークを示す工夫があり、生徒の主体的な学びを促しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるよう、教材文の終わりに「てびき」を設定している。 直前の教材に関連した体験的な学習を促す「考えよう」のページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができる教材には、目次、該当ページにマークを付け、教材の終わりに「学習の進め方」のページを設けている。 直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設け、目次、該当ページにマークを示す工夫があり、生徒の主体的な学びを促しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるよう、教材の終わりに「深めよう」のページを設けている。 直前の教材に関連した体験的な学習を促すページを設けており、演技を行う視点を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるよう、教材文の終わりに発問を設定している。 体験的な学習を促す教材を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができるよう、教材文の終わりに発問を設定している。 体験的な学習を促す教材を掲載している。
観点3 内容の構成・ 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> 判型はA B判。別冊はない。 いじめの問題を扱う教材は、3つの教材をユニットとして構成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 判型はB 5判。別冊はない。 いじめの問題を扱う教材等は、複数教材をユニットとして構成し、体系的に配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> 判型はB 5判。別冊はない。 いじめの問題を扱う教材は、複数教材をユニットとして構成し、学年の前半に配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> 判型はB 5判。教科書に対応したワークシートの別冊があり、活用しやすい。 いじめを直接的・間接的に扱った複数教材とコラムをユニット化し、年間で複数配置している。 	<ul style="list-style-type: none"> 判型はA B判。別冊はない。 いじめ防止につながる教材を選定するとともに、特設ページ「クローズアップ」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 判型はA B判。別冊には、補助的な教材を掲載している。 いじめ問題を扱った教材とともに特集ページ「thinking」「いじめを許さない 私たちの心」を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 判型はB 5判。別冊はない。 いじめの問題を正面から取り上げた教材を第1学年に掲載している。
観点4 内容の表現・ 表記	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭の目次には、4つの視点で色分けしたマークとともに、掲載している全ての教材名を示している。巻末には、「自分の学びをふり返ろう」とし、切り取り式の自己評価用紙を各学期分設けている。 「4つの視点」、「アクション」、「プラス」等のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭の目次には、4つの視点で色分けしたマークを示している。また、見開き2ページで「この教科書で学んでいくテーマ」を示している。巻末には、切り取り式で学びの振り返りを設けている。 「4つの視点」、「いじめ・差別」、「生命の尊さ」等のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭の目次は、3つのシーンに色分けするとともに、複数のユニットごとに下線を引き、テーマを教材名の下に示している。巻末には、切り取り式の「学びの記録」を折り込みで設けている。 「4つの視点」、「見方を変えて」、「考えよう」、「つながよう」等のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭の目次には、「いじめ」と向き合う、「よりよい社会と私たち」のユニットに、色別のテーマを教材名の下に示している。巻末には、内容項目別教材一覧を4つの視点別に示し、テーマや教科等との関連を示している。 「4つの視点」、「問題解決的な学習」、「体験的な学習」等のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭の目次には、4つの視点で色分けしたマークを示している。巻末には、内容項目別教材一覧を4つの視点別で示し、切り取り式の振り返り「学びの記録」を4回分設けている。 「4つの視点」、「深めよう」、「いのち」、「情報モラル」等のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭には、目次の後に、詩を掲載するとともに、「一 道徳の時間とは一」を見開きで示している。巻末には、教材ごとに4つの視点で色分けした「内容一覧」を示している。 「4つの視点」を色分けした丸の形で示している。「考える・話し合う」等のマークを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭の目次は、4つの視点で色分けをし、内容項目順に全ての教材名を掲載している。巻末には、1年間の振り返り等を、見開き2ページで設けている。 「4つの視点」を色分けして示し、「もっと知りたい」等のマークを設定している。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭の「話し合いの手引き」等で、話し合いの具体的な流れを示している。 巻末に、心に残った教材や授業で学んでよかったこと、来学期の取り組み方等を記入する振り返りのページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭の「道徳科で学びを深めるために」等で、話し合いのポイントを示している。 巻末に、毎時間の学習の感想を記入する欄と学期、年間の学びを踏まえて考えたことを記入する振り返りのページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1教材「道徳の授業を始めよう！」の「どうやって学ぶの？」の中に、話し合いのポイントを示している。 巻末に、1時間ごとの学びの記録欄がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭で、話し合い活動の具体例が写真で示され、話し合い活動の参考にしやすい。 別冊「道徳ノート」に、授業で学んだこと等について振り返る欄を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭の「新しい扉を開く」の中に、話し合う学習活動を提示し、ポイントを示している。 巻末に、授業での取組や心に残った授業、これから生かしたいことを記入する振り返りのページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭「一 道徳の時間とは一」の中に、話し合いのポイントを示している。 別冊「中学生の道徳ノート」の巻末に、心に残っている授業の記録や学習の記録を書く欄を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭「道徳科って何を学ぶの？」の中に、話し合いのポイントを示している。 巻末に、1年間の心の成長等を振り返るページを設けている。